

会 議 録

会 議 の 名 称	ひたちなか市魚市場委員会
開 催 日 時	午後 2 時 3 0 分から 令和 7 年 2 月 1 7 日（月） 午後 3 時 1 5 分まで
開 催 場 所	ひたちなか市地方卸売市場 大会議室
出 席 者	委員（者）氏名 関 政 行 富永 敦 磯前 昌宏 櫻井 康順 森田 一明 二平 章 計 6 名
	担当部課職員職氏名 経済環境部長 松本 竜宝 水産課長 小川 孝博 係長 大内 貴文 主任 磯崎 隼
会 議 次 第 及 び 会 議 の 公開又は非公開の別	1 開会 2 委員長挨拶 3 経済環境部長挨拶 4 議題 （1）ひたちなか市地方卸売市場取扱状況報告について （2）ひたちなか市地方卸売市場の施設・設備の改修について （3）その他 5 閉会
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開とした場合)	
傍 聴 者 の 数	1 名
会 議 資 料 の 名 称	1 令和 6 年度ひたちなか市魚市場委員会
会 議 録 の 作 成 方 法	要約
そ の 他	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、決定事項等）

関委員長	<p>（委員長挨拶、経済環境部長挨拶の後、議事に入る）</p> <p>（１）「ひたちなか市地方卸売市場取扱状況報告について」</p> <p>お手元の会議次第４の（１）「市地方卸売市場の取扱状況報告について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料１ページをご覧ください。</p> <p>こちらは、令和６年度の取扱状況の表となります。今年度は１月末までの集計となっておりますので、比較しやすいように令和５年度の１月末までの集計を欄外に表示してございます。</p> <p>令和５年度約１８６トンに対して令和６年度は約１８２トンと、約４トン取扱量が減少しております。</p> <p>次に下段の、取扱金額を集計した表を見ますと、令和５年度約２億１,４３６千円に対して令和６年度は約２億７,６７５千円と、約６,２３９千円増の取扱金額となっております。</p> <p>続いて２～３ページをご覧ください。こちらは、魚種別の表となります。</p> <p>昨年度より取扱量が大きく増加した魚種につきましては、アワビ、サワラ、タコとなります。</p> <p>アワビではございますが、昨年は一時的に漁獲量が減少し資源状況の悪化が危惧されましたが、本年度は「昨年より貝が多く見える」といった漁業者の声が聞かれるなど、不漁であった昨年度を大きく上回る漁獲量が昨年度比で１５３％となっております。</p> <p>次に、サワラについては、主要魚種のヒラメが獲れないことや、海洋環境の変化などの影響でサワラ資源の回遊が増えてきたことなどが要因として考えられます。最近では、サワラ以外にもキンメダイ、タチウオなど、といった比較的暖流系の魚種が増えております。</p> <p>続いて、タコ類については、本県で水揚げされるマダコは茨城県より北の海域で成長し、産卵のために秋から冬にかけて房総沖に南下してくる「渡りダコ」です。茨城県におけるマダコの好不漁は、この渡りダコの来遊状況に大きく影響されます。昨年度が不漁であったため、今年度は例年どおりの漁獲量に近い水準に戻ったと考えられます。</p> <p>昨年度より取扱量が大きく減少した魚種につきましては、ヒラメ、</p>

シラス、イセエビとなります。

ヒラメの漁獲金額が大きく減った理由につきましては、県の水産試験場の報告書を参考に説明いたします。毎年、水産試験場では、調査船「いばらき丸」を用いて、11月から12月にかけて29地点で底魚資源調査（冬季着底トロール調査）を実施しております。今年度の調査では、水揚げされたヒラメは2トンにとどまったとのこと。直近10年間の平均水揚量は274トンであるため、今回の漁獲量は非常に少ない結果であると思われます。この調査結果から、ヒラメの資源量が減少しているのではないかという懸念が生じますが、茨城県が漁獲しているヒラメは「太平洋北部系群（岩手～千葉）」に位置付けられています。国の「水産研究・教育機構」の報告書によると、資源状況は決して悪くない状況であり、県の水産試験場の資源評価でも茨城県におけるヒラメの評価は「中位」となっています。つまり、太平洋北部海域にはヒラメが生息しているものの、「いばらき丸」の調査時期には、その海域にヒラメがいなかったと考えられます。

次に、シラス・イセエビについてですが、県水産試験場の資源状況を見ると（高位・横ばい）、イセエビについては（高位・増）と資源状況は悪くありません。水揚金額が減少した要因として考えられるのは、時化などによる努力量が減少したことが影響したのかなと思われます。

4ページ以降につきましては、過去10年間の取扱状況をまとめたものとなります。

議題（1）の説明は以上となります。

関委員長

ありがとうございました。只今、事務局から説明がありました。せっかくの機会ですので、委員の皆さまからご意見を伺いたと思います。磯前さん、那珂湊漁協の組合長としていかがでしょうか。

磯前委員

資料からも一目瞭然ですが、廻船は令和3年以降水揚げがない状況です。また地元漁船による水揚も右肩下がりの状況です。今年度は時化により出漁できないことも多く壊滅的な状況になりました。二平先生もいるのでカツオの分布の状況も伺いたい。

二平委員

昨年のカツオは春先から北に偏りこの10年で一番漁獲状況が良く、

	<p>気仙沼を中心に水揚げされ、秋にも取扱単価が良く喜ばれた。</p> <p>また、沿岸漁業は、黒潮が北上している影響で獲れる魚が今までと変わってきています。各地で、今の状況に合わせて漁具や漁法を変えなければいけないと話が出ています。那珂湊では魚種の変化による漁船や漁具の変化はありませんか。</p>
関委員長	<p>極端には変わっていませんよね。</p>
事務局	<p>はい。</p>
二平委員	<p>漁業者の影響は出ていないということですね。</p>
事務局	<p>時化等の影響で出漁日数が減っているという状況はあります。</p>
二平委員	<p>出漁日数の減少は全国的な傾向である。海や魚の変化があるのと同時に、水揚げの減少は全国的な傾向ですね。</p>
関委員長	<p>次に森田さん、仲買人組合としてはいかがでしょうか。</p>
森田委員	<p>数年前は暮れに魚が大量に水揚げされていた記憶があります。また水揚げされる魚も変化しており暖かい海の魚が増えてきた印象です。ヒラメが少なく、ここ数週間も時化で漁に出られないと思います。</p>
関委員長	<p>次に櫻井さん、廻船問屋組合としてはいかがでしょうか。</p>
櫻井委員	<p>廻船が入らないため貢献できず心苦しい思いであります。海況の変化で冷たい漁場のサンマが入らなくなりました。カツオ船も漁場の変化と資源の影響だけではなく、一定の漁港にしか入港されない状況ができてしまっています。銚子や小名浜漁港等にもほとんど入港しない状況ができています。近海に漁場が形成されれば誘致することもできるかなという感覚はあります。クロマグロの資源が増加しており、那珂湊沖にもいい漁場があります。北に運んで水揚げするのも大変ですので那珂湊で水揚げできるならいいのですが。</p>
二平	<p>クロマグロは TAC による資源管理が行われており、その枠で獲らなければなりません。廻船の観点からいえば、決められた枠の中で那珂</p>

	<p>湊に水揚げしてもらうのはありだと思います。</p>
<p>関委員長</p>	<p>富永さん、県としてはご意見ありませんか。</p>
<p>富永委員</p>	<p>アワビは昨年度取扱量が少なくて心配しましたが、今年度は状況が良かったので安心しました。県においては、藻場のモニタリングとアワビ種苗の放流をしっかりと実施していきたいと思います。</p>
<p>関委員長</p>	<p>様々なご意見をいただきましたので、今後も取扱量の増加について検討いただければと思います。それでは、(1)「ひたちなか市地方卸売市場取扱状況報告について」はよろしいでしょうか。</p> <p>(委員了解)</p> <p>ありがとうございました。</p>
<p>関委員長</p>	<p>(2)「ひたちなか市地方卸売市場の施設・設備の改修について」 続きまして、(2)「ひたちなか市地方卸売市場の施設・設備の改修について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>施設等の修繕について説明いたします。</p> <p>当卸売市場は、市が開設者として、市場を運営されております。今年度の市予算は約 2,500 万円です。市場収入の内訳は、80%が市からの繰入金、9%が市場の使用料となっております。</p> <p>支出の内訳は、60%が施設修繕等、35%が光熱費などの維持経費となります。</p> <p>11 ページをご覧ください。</p> <p>【受変電設備改修工事】受変電設備は、発電所から送られてくる高電圧の電気を、卸売市場で使用できる電圧に変換する設備です。この設備は、長年使用により劣化し、故障や事故のリスクが高まっていることから改修を行うものです。</p> <p>【消防用設備改修工事】続きまして消防用設備の改修になります。消火水槽は、火災発生時に消火活動で使用する水を貯めておくための設備です。</p> <p>来年度予定している工事について説明いたします。</p> <p>【海水取水加圧ポンプ交換】魚市場で使用する耐用年数を超過した海水ポンプ等の交換を予定しております。</p>

【高圧ケーブル改修工事】劣化した高圧ケーブルの交換工事を予定しております。高圧ケーブルは、発電所から送られてくる高電圧の電気を、受変電設備に送るためのケーブルになります。今回、経年劣化が確認されておりますので、安全に電気を使用するため更新作業を行うものです。

続きまして資料の 12 ページをご覧ください。

【応接室空調機更新】応接室の空調故障に伴い、空調設備一式の更新を予定しております。

【照明器具改修工事（LED 化）】当市場施設のすべての照明器具の LED 交換工事を予定しております。これは、2023 年 11 月、水俣条約第 5 回締約国会議（COP5）において、全ての一般照明用蛍光灯について、2027 年末までに製造と輸出入を禁止することが決定されたことをうけ、市では各施設の LED 照明への更新をおこなっており、当施設では来年度に一括して更新を行うこととしております。

続きまして 13 ページをご覧ください。

【屋上防水塗装外壁工事】卸売市場は、建築から 30 年以上が経過し、施設内数カ所で雨漏りしている状況が見受けられます。こうした雨漏りは、建物の構造体である屋根や躯体を腐食させ、劣化を早める原因となります。そのため、来年度から 2 年をかけ屋上と外壁の防水塗装を行い、雨水の浸入を防ぎ、建物の寿命を延ばす工事となります。工事の実施にあたっては、仮設足場の設置など大規模な工事になることが予想されます。市場業務の支障とならないよう実施する予定ではおりますが、施設を利用する皆様方におかれましても、ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

議題（2）の説明は以上となります。

関委員長

只今事務局から説明がありましたが、この件でご意見・ご質問等がございましたらお願いします。

関委員長

蛍光灯を LED 化すると、どの程度の電気代の節約になるのでしょうか。

櫻井委員

一般的には、電気代は半分程度になるのではないのでしょうか。

<p>関委員長</p>	<p>本卸売市場に設置されている太陽光発電はどのように使用されているのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>市場で使用する電気に使用しております。</p>
<p>関委員長</p>	<p>他にご意見はありますか。 それでは、(2)「ひたちなか市地方卸売市場の施設・設備の改修について」は、よろしいでしょうか。 (委員了解) ありがとうございました。</p>
<p>関委員長</p>	<p>(3) その他について 続きまして、(3)「その他」ですが、皆様から何かございますか。 事務局は、ありますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>次回の魚市場委員会については、委員改選もありますので7月ごろに予定おります。</p>
<p>関委員長</p>	<p>以上で、本日の議事を、終了させていただきます。ご協力、ありがとうございました。 事務局に、進行をお返しします。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございました。 以上で、令和6年度ひたちなか市魚市場委員会を閉会いたします。 本日はお忙しいところありがとうございました。</p>
<p>以上、会議の内容に相違ないことを証明する。 令和7年 月 日 ひたちなか市魚市場委員会 委員長 関 政行 ㊟</p>	